

第90回記念 春陽展



国立新美術館 4/17(水) - 29(月) 10:00~18:00 23日(火)休館日

春陽会は1922(大正11)年、小杉未醒、足立源一郎、倉田白羊、長谷川昇、森田恒友、山本鼎、梅原龍三郎、さらに客員として石井鶴三、今関啓司、岸田劉生、木村荘八、中川一政、萬鉄五郎等が参加して15名で創立されました。



春陽会発会当日の記念写真(1922.1.14)

翌1923(大正12)年に第1回展が開催され、今年第90回展を迎えました。その間、三岸好太郎、岡本一平、小山敬三、岡鹿之助、三雲祥之助、高田力蔵等、また版画部には長谷川潔、駒井哲郎など、日本美術史に名を刻む多くの画家たちが参加しています。

春陽会略年譜

- 1922年1月14日春陽会発足。創立会員>足立源一郎、梅原龍三郎、倉田白羊、小杉未醒、長谷川昇、森田恒友、山本鼎。創立客員>石井鶴三、今関啓司、岸田劉生、木村荘八、樺君雄、中川一政、山崎省三、萬鉄五郎。1923年第1回展開催。搬入点数2466点、入選51点。客員制を廃止。客員は会員となる。1927年第5回展。この年より会場を東京府美術館(現東京都美術館)に定める。1928年第6回展。「版画室」を新設。1944年第22回展。この年より1946(昭和21)まで一般公募中止。また、1945(昭和20)は開催せず。1947年第24回展。この年より公募展として再開。以後毎年、東京都美術館にて開催を続ける。1951年第28回展。この年より「舞台美術部」を新設。(のち1961年に廃止。)また、従来の「版画室」を「版画部」と改称し、「絵画部」と並立する。1952年第29回展。フランス現代銅版画特別陳列。この年より、版画部の審査を独自で行なう。1953年第30回記念展。1963年第40回記念展。1973年第50回記念展。1983年第60回記念展。1984年社団法人春陽会として発足。新たな歩みを始める。1993年第70回記念展。春陽会70年史を刊行。2003年第80回記念展。「春陽会第二世代の作家たち」を特別展示。第80回記念賞を授与。2010年法改正により一般社団法人に移行。2011年「春陽会第3世代の作家たちパート1」を特別展示。2012年「春陽会第3世代の作家たちパート2」を特別展示。

講演「木村荘八の芸術」

春陽展は第90回を迎えましたが、同時に創立メンバーのひとり木村荘八は生誕120年を迎えます。春陽会ではこれを記念して木村荘八展を企画しました。また、東京ステーションギャラリーは東京駅復元工事完成後、改装記念第一弾として同じく木村荘八展を企画、春陽会との合同企画で進めることとなりました。現在「生誕120年木村荘八展」が3月23日(土)から5月19日まで、東京ステーションギャラリーで開催されています。この展覧会の企画者でもある、館長の富田章氏にお話を伺います。



富田章氏

◎特別展示「春陽会新世代の作家たち」

(絵画部) 有吉宏朗・鈴木善晴・萩谷かおる・三浦明範 (版画部) 清水美三子・立堀秀明・中東剛

春陽会の歴史を三世代に分け、昨年まで第三世代の作家たちを展示検証してきました。第90回記念展の今回はこれからというべき世代を取り上げ、春陽展の未来を展望します。

◎木村荘八 作品・資料展示

財団法人小杉放菴記念日光美術館収蔵作品および資料の一部を展示します。

◎春陽会史料室 春陽展90回の歴史を展示します。

◎チャリティー展示(会員有志)

収益は東日本大震災をはじめ、自然災害、難民問題等に対する社会貢献として寄付します。

Special Events

20 (土)

■入選者会場批評会 13:30より

当日、会場にて受け付けます。参加は無料です。

■授賞式・懇親会 17:30より

会場:青山ダイヤモンドホール

21 (日)

■絵と舞蹈と音楽のコラボレーション

チャリティーパフォーマンス 工藤 丈輝氏(舞蹈) + 齋藤 徹氏(コントラバス) 14:00~14:45 2F展示会場内

27 (土)

■春陽展アートツアー

13:00~14:30 (2F会場入口集合) 参加無料、オリジナルグッズ プレゼント 一般の方を対象にした、絵画・版画鑑賞ツアー。春陽会会員の解説を受けながらアートの新たな楽しみ方を見つけていただけます。

28 (日)

■講演会「木村荘八の芸術」

富田 章氏(東京ステーションギャラリー館長) 13:30~15:00 国立新美術館3F講堂 入場無料

Traveling exhibitions

- 名古屋展 - 愛知県美術館ギャラリー 5月21日(火)~26日(日) 大阪展 - 大阪市立美術館地下展覧会室 6月4日(火)~9日(日)

<<絵画部会員>> 赤井由紀 浅井礼二郎 浅野由紀子 東直樹 有吉宏朗 飯田颯 五十嵐美代子 池田常子 生駒幸子 石川健治 石川茂 石川すみ 石田勤一 石橋征道 一瀬茂治 伊藤清則 伊藤昭二 稲垣有 井上直子 今関鷲人 入江観 若井干佳 若浪弘 岩淵ケイ子 鶴居町子 梅田博之 浦野吉人 大石洋次郎 大柿了一 大河みえ子 大島由美子 太田壽信 大附陽子 小川洋子 奥田良悦 奥村靖子 長田昇 長田久子 小沢澄子 小野和子 麻績勝広 折登朱実 加々美圭介 影山捷司 笠木實 梶谷修弘 片桐アキラ 加藤助八 加藤尚 加藤ヒロ子 金井順子 金谷ちくさ 神尾裕 川野美華 岸鹿津代 岸妙子 岸葉子 北原宏太郎 木村順一 木村梨枝子 水鶏口尊昭 久家三夫 斎間宏 栗原正 黒田邦裕 小池悟 河野れい子 小坂茂 小島満子 小林笑子 小林俊明 小林裕児 小林理一 駒村久弥 小宮英夫 小山和夫 齊藤澄人 齊藤雅之 坂田和之 佐藤淳子 佐藤勤 塩谷よし子 嶋恒夫 下工垣優江 新城小波江 進藤妙子 杉浦尚史 杉藤正 すすきくみ 鈴木善晴 関頼武 高岸まなぶ 高野考太郎 高橋務 高橋正恵 高橋政子 高橋好子 高松博仁 武田百合子 但馬辰子 鎧寿弥 田中節子 田中孝 田中俊行 田中英明 田中康夫 棚橋隆谷 一芳 田村樹 植山恭平 永井金四郎 中沢優子 中嶋康群 中島千香子 長沼巧 中村隼子 仲村勇 長森聡 中山里美 成川雄一 新出りエ子 西川光三 西濃俊明 西野雅子 丹羽皓夫 根邊晶 野口俊文 野口宏文 乃村豊和 野村正則 萩谷かおる 長谷川光一 羽田裕 山本昌子 花房このみ 花山敏子 馬場純子 濱圭 濱原 原田和泉 日置静子 彦坂章子 平井誠一 平井智子 平越達 平阪昭 平野繁典 広田操二 廣永京子 福本まさ子 藤井武 藤田典子 藤沼多門 星俊六 星野文和 細井三男 堀内真明 堀込はやお 前川鋼平 前田舞歌 増井英 松倉唯可 松下忠 松島治基 松宮直子 松本篤 三浦明範 三島耕二 道広真次 三井永一 峰江 宮井健年 宮下まつ子 宮宮英樹 向井康子 村上秀樹 安田完 ヤダハルミ 八代美紀 柳沢健 柳田三子 矢野素直 山家公美子 山口愛美 山崎清子 山本真寿子 山本秀樹 山本睦 横尾文夫 横山了平 吉川元順 吉澤俊 吉沢陽子 吉原美枝 四谷明子 若林俊樹 脇田六瓶 渡邊明 渡辺一夫 渡辺洋子 (2013年3月現在)



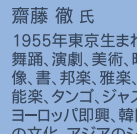
第1回春陽展展示会場

<<版画部会員>> アイトヨハネス 赤塚美子 浅井小夜子 安部一博 新井リコ いしだふみ 市川有子 伊東樂特 伊藤龍作 ウチダゴシエ 内山良子 大井戸百合子 大上吉成 大久保澄子 大坂忠司 片山憲二 加藤隆雄 川井木綿 橋谷美奈子 幸田美枝子 小浦真 後藤圭介 小林ドンゲ 駒井英治 塩田志 野野和男 篠田紀代 柴田昌一 島けいこ 清水美三子 水津保美 杉藤万里子 杉山元次 鈴木君子 鈴木孝太郎 鈴木誠一 鈴木雅弘 関野洋作 全田紗和子 早乙女務 高浦とみ子 高橋キョウシロウ 高橋房雄 竹内清美 竹内美穂子 竹田智美 武田健夫 立堀秀明 田中令子 玉置昇 丹阿弥丹波子 中島白羽 仲野壽志 中東剛 中山岳美 仁科久 浜西勝則 林和一 彦坂隆 府川誠 藤本清子 船坂芳助 本田耕一 前田光一 松島順子 松田洋子 松野登美子 みいださかえ 箕輪香名子 宮本典刀 森島勇 山下淳子 山近雅子 行元昭子 横瀬信子 渡辺達正 海老塚耕一 (2013年3月現在)

チャリティーパフォーマンス



工藤 丈輝氏 1967年東京生まれ。慶大仏文科卒。在学中より演劇、ダンス、日舞を学ぶが、1989年、舞蹈との出会いが以後の進路を決定付ける。玉野賢市、和栗由紀夫作に出演ののち、1992年よりソロ活動を開始。1995~1998年山海塾に参加。1997年には自らの集団「東京戯園館」を設立。さまざまな分野のアーティスト、カンパニーと関わりつつ、ソロをメインに世界各所で持続的に公演を行っている。



齋藤 徹氏 1955年東京生まれ。舞踊、演劇、美術、映像、書、邦楽、雅楽、能楽、タンゴ、ジャズ、ヨーロッパ即興、韓国の文化、アジアのシャーマニズムなど、様々なジャンルと積極的に交流。ヨーロッパ、アジア、南北アメリカで演奏・CD制作。コントラバスの国際フェスティバルにも数多く参加。コントラバス音楽のための作曲・演奏・ワークショップを行う。自主レーベルTravessia主宰。

春陽展第90回記念企画協力 「生誕120年 木村荘八展」

- ◎東京ステーションギャラリー 3月23日(土)~5月19日(日) ◎豊橋市美術博物館 5月25日(土)~7月7日(日) ◎財団法人小杉放菴記念日光美術館 7月13日(土)~8月25日(日)

春陽会

〒102-0085 東京都千代田区六番町1番町一番館 Tel&Fax 03-6380-9145